観光×モビリティ Hamamatsu 共創チャレンジワークショップ（第 1 回）

9 月 18 日（金）に開催した第一回目のワークショップでは、前半に計量計画研究所　常務理事、ColU（コーイノベーション大学）教授の牧村和彦氏によるインプットレクチャ、後半はアイデア創出ワークショップを約 1 時間弱という短い時間ではあるが、グループに分かれて実施した。本ワークショップは全 3 回を通じて「交通×モビリティ」をテーマとしており、事前に「特産品観光」「マイカー渋滞緩和」「ユニバーサル観光」「市内回遊・ラストワンマイル」という小テーマでグループを分け、ワークを実施した。各グループで出たアイデアを下記に掲載させていただく。

一覧：参加者の属性

業種	人数	構成比
観光協会・観光団体	5	22.7%
保険	3	13.6%
輸送機器・自動車部品メーカー	3	13.6%
鉄道・運輸	2	9.1%
小売・商業施設	2	9.1%
広告・PR・クリエイティブ	2	9.1%
その他（サービス・ベンチャー等）	5	22.7%
合計	**22**	**100.0%**

① ユニバーサル観光

アイデア	超小型 EV の e カートと、視覚障碍者向けの遠隔サポートサービスを組み合わせ、公共交通と連携して高齢者などの観光・外出支援
概要	JR・遠鉄バス・遠鉄電車を組み合わせ、フラワーパーク、動物園、パルパル、舘山寺方面など（※訪問先は要確認）の観光地へ、高齢者や障害のある方に出かけていただくサービス。

② 渋滞ストレスのないまち

アイデア	渋滞予測をプッシュ通知するアプリと、カーシェア・ライドシェアを組み合わせ、移動時間をずらせる人の行動変容を促進

概要	●車版の通知アプリを作り、朝起きた時点で「今日はこのくらい渋滞する」という情報をポップアップで届け、渋滞を事前に認知してもらう。 ●情報を見て「今日は自分の車で出なくてもよい」と判断した人に、ライドシェア／カーシェアのような形で、車や電動モビリティを提供できる仕組みを組み合わせる。 ●スターバックスリワードのようなポイント制を導入し、貯まったポイントを、車両等を提供した企業の製品・サービスと交換できるようにする。

③ 新たな移動エンタメ創出（A グループ）

アイデア	浜名湖を中心に観光地を繋ぐ、バスとトゥクトゥクの中間のような周遊モビリティ
概要	●浜松は駅から観光地までが遠い場所も近い場所もあり周遊しにくいため、観光地同士をつなぐ移動手段をつくる。 ●通常のバスではなく、トゥクトゥクに近い開放的な車両で、それよりやや大人数が乗れるもの。浜名湖の風を感じながら移動できる。 ●高齢者の移動の問題を耳にすることが多いため、観光客だけでなく住民も利用できるようにし、浜松全体を周回する。

④ 新たな移動エンタメ創出（B グループ）

アイデア	舘山寺周辺を遊びつくす「うなぎ体験」×グリーンスローモビリティ・カートの観光プラン
概要	●保育園のバスにキャラクターが描かれているように、うなぎをモチーフにした車両（カート）をつくり、乗ると蒲焼の香りがする演出を行う。 ●参加者が自分でうなぎを焼く体験をし、舘山寺の各種コンテンツやうなぎつかみ体験を行った後、最後にプロが焼いたうなぎを食べる。「うなぎを 2 回食べる」体験。

⑤ 市内回遊・ラストワンマイル

アイデア	廃止された循環バス「くるる」を自動運転 EV バスとして復活させ、時間帯毎に用途を変えて運行
概要	●無人運転の EV バスによる循環運行を復活させる。東京駅周辺で無料運行されている事例を参考にする。 ●財源は、民間企業からの広告収入などを想定する。